

平成28年度
全国英語教育学会・小学校英語教育学会
第1回英語教育セミナー

< 講演 >

「読めないテキストからは学べない」

根岸 雅史

東京外国語大学

< セミナー① >

「小学生の『聞きたくなる・言いたくなる』について考える」

粕谷 恭子

東京学芸大学

< セミナー② >

「量的手法による教室の状況の記述」

山森 光陽

国立教育政策研究所

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 2016年6月4日 (土) 13:00 - 17:00 |
| 会 場 | 東京学芸大学S棟1階S103教室 http://www.u-gakugei.ac.jp/access/ |
| 主 催 | 全国英語教育学会 小学校英語教育学会 |
| 参 加 | JASELEウェブ受付 http://www.jasele.jp/seminar_2016_1/ *定員100名になりしだい受付終了 (参加無料) 問い合わせ: JASELE研究企画部 羽山 恵(meghayama@dokkyo.ac.jp) |

平成28年度
全国英語教育学会・小学校英語教育学会
第1回英語教育セミナー

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 2016年6月4日(土) 13:00-17:00 |
| 会 場 | 東京学芸大学 S棟1階S103教室 東京都小金井市貫井北町4-1-1 http://www.u-gakugei.ac.jp/access/ |
| 日 程 | <p>受 付 12:30</p> <p>開 会 13:00 司会 羽山 恵 (獨協大学) コーディネーター 臼倉 美里 (東京学芸大学)</p> <p>1. 講 演 13:05-14:25 「読めないテキストからは学べない」 講師 根岸 雅史 (東京外国語大学)</p> <p>2. セミナー① 14:35 - 15:35 「小学生の『聞きたくなる・言いたくなる』について考える」 講師 粕谷 恭子 (東京学芸大学)</p> <p><休憩 15:35 - 15:55></p> <p>3. セミナー② 15:55 - 16:55 「量的手法による教室の状況の記述」 講師 山森 光陽 (国立教育政策研究所)</p> <p>閉 会 17:00</p> <p>*閉会后、「創笑 国分寺店」にて懇親会を開催します。 (17時30分開始予定、大会参加申込時事前申込制) 会費は4,000円を予定しております。</p> |

要 旨

【講 演】

『読めないテキストからは学べない』

講師 根岸 雅史 東京外国語大学

中学校検定教科書・高等学校検定教科書・大学入学試験・大学テキスト・英字新聞・海外大学テキストにおける英語テキスト難易度と英語学習者の読解レベルは、どのような関係にあるのだろうか。その実態をLexile Measureという指標により明らかにし、その結果をCEFRに関連づける。

【セミナー①】

『小学生の『聞きたくなる・言いたくなる』について考える』

講師 粕谷 恭子 東京学芸大学

「聞きたくなる場面づくり」とか「言いたくなる仕掛け」という表現をよく耳にするが、実態はゲームであることが多い。「勝ちたいから聞く」「ポイントのために言う」で子どもが満足するとは思えないのだが…。実践の紹介を交え、「聞きたくなる・言いたいたくなる」を切り口に、子どもの学びについて考える機会としたい。

【セミナー②】

『量的手法による教室の状況の記述』

講師 山森 光陽 国立教育政策研究所

指導実践の改善を促すことを目的とした研究の知見は、その知見を手にした教師に対して自身が授業を行う教室の状況との照合を誘起し、改善策の吟味を促進しうるものであることが求められよう。こうした知見を量的手法による研究で導くための見様を、この講義では分類と相互作用に焦点を絞って検討する。

